自立支援センターパールうき　地震避難訓練計画

自立支援センターパールうき

1. 目的

地震を想定した避難訓練を実施し、職員、子供の防災意識を高める。また、事前の指導によって子供がパニックを起こさず、スムーズに避難を行えるようにする。

1. 実施日

令和3年7月28日（木）

1. 参加者

職員：

児童：

1. 避難場所

　施設内駐車場

1. 指導計画

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | 指導 | 支援・配慮・その他留意事項 |
| 事前指導 | ・地震が発生した際の身の守り方や逃げ方、注意事項を説明する。 | ・「おさない、はしらない、しゃべらない、もどらない」のルールを、イラストを使って具体的に説明する。  ・言葉での理解が難しい子供に対しては、個別に分かりやすく指導を行う。 |
| 避難訓練 | ・地震発生を受け、初期対応を行った後、揺れが収まってから戸外への避難を行う。 | ・職員割り振り  　避難誘導・点呼：  　火元等安全確認：  　子どもの安全確認・報告：  ・初期対応では体を丸め、頭部を手で守るよう指示する。  ・避難の際には、それぞれ荷物で頭部を守りながら移動する。  ・戸外に出たら、二列で並び職員の指示があるまで私語がなく待てるよう留意する。 |
| 事後指導 | ・全体で振り返りを行う。 | ・感想や怖かったことなどを発表させ、配慮点の汲み取りを行う。 |

５．課題・対策（後日記載）

|  |  |
| --- | --- |
| 計画について | 子どもの様子 |
| 今回の避難訓練では、事前指導は火災の避難訓練の時に地震の時の身の守り方なども一緒に指導しており、当日の事前指導はなしで行った。スケジュールにだけ避難訓練と書き、フリータイム中に訓練をいきなり入れた。  計画通りには出来ていた。 | 前回の訓練での話を覚えており、パニックになる児童もおらず頭をバックで守ったり、机の下にもぐる事が出来ていた。  その後の避難誘導にも「お・か・し・も」を守り、真剣に取り組めていた。 |